

公益財団法人 檜の芽会 御中

伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】	① 作成日			令和6年6月10日	
② 法人・団体名	特定非営利活動法人ふらいおん				
③ 所在地	〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南 3-8-38				
④ 責任者氏名	横山豊	(役職名等)	経理部長		
⑤ 担当者氏名	横山豊	(役職名等)	経理部長		

【奨学活動の概要】					
⑥助成交付決定番号	R05-029	⑥ 助成金額	50万円	⑦ 申請カテゴリ	C
⑧ 奨学活動名	無料学習塾				
⑨ 主な実施場所	大阪市				

⑩ 活動内容とその成果の概要（詳細は【様式3-2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

我々は「経済的な事情で学習塾に通えず、学校以外で学びの機会を得ることができない子供」や、「学習機会が得られないことが原因で周囲の子供よりも勉強が遅れてしまった子供」に対しての課題意識を強く持ち、無料塾を通してそれらを解決しようと試みてきました。そんな中で、当初の課題認識だけでなく、発達障がいや不登校など、子どもたちを取り巻く問題は複雑であることを再認識しました。

当初の認識から大きく視野を広げ、さまざまな子どもたちに対して適切な対処ができるよう、指導員の持つ意識や認識を高め、より多くの子どもたちの居場所となり、学力だけでない「多様なまなび」を取り入れることができました。

当初計画していた東京での新規開校は試験段階ではありますがスタートを切っており、活動地域の拡大も順調です。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑩及び様式3-2等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A：人)	平均時間 (B：時間)	活動量 (A x B)	備考・補足
中学生等	560	2	1120	
高校生等	50	2	100	主に学習支援ボランティアとして参加
大学生等	120	2	240	主に学習支援ボランティアとして参加
学習支援員等	0	0		
その他	0	0		
合 計				

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和 5 年度 伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：

法人・団体名：特定非営利活動法人ふらいおん

作成者 氏名：横山豊

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

我々は当初、「経済的な事情で学習塾に通えず、学校以外で学びの機会を得ることができない子供」や、「学習機会が得られないことが原因で周囲の子供よりも勉強が遅れてしまった子供」に対する支援を考え、無料塾を通して課題解決に勤しんでいましたが、活動を行う中で、子どもたちを取り巻く社会課題はもっと根深く、また幅広いものだと認識しました。

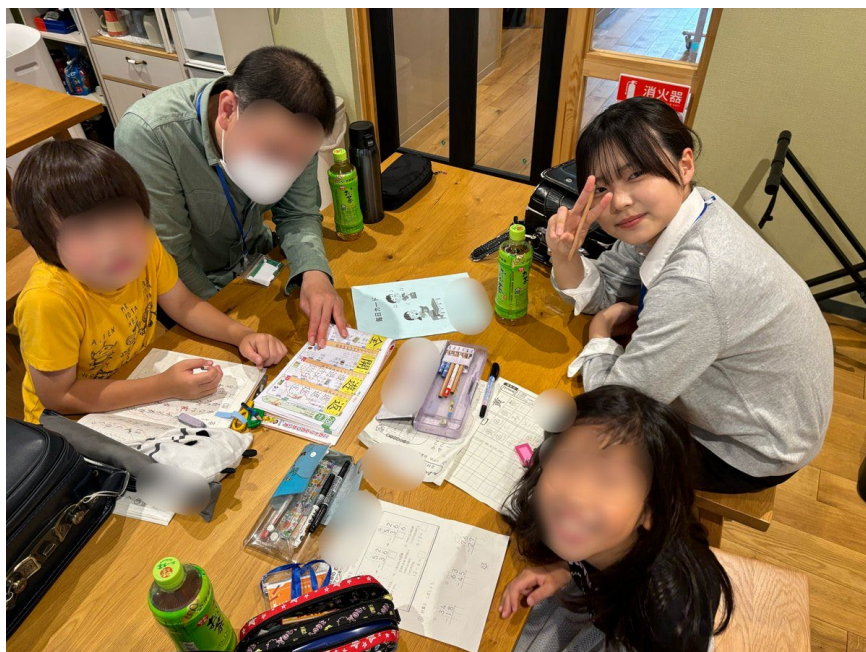
不登校や発達障がい、ひとり親家庭など、さまざまな背景が学習の遅れや、居場所の不足に繋がっていると考えました。

我々は無料塾を「無料で勉強を教える場所」ではなく、「子どもたちに多様なまなびを届ける場所」と再定義し、子どもたちのサードプレイスとなるような校舎運営や、子どもたち一人一人のバックグラウンドに合わせた適切な支援を行えるよう尽力してまいりました。

2. 実施した奨学活動の詳細

2023年8月より開校した無料塾ひだまりでは、児童養護施設の子どもたちに向けて、週2回、学習支援やレクリエーションを行っています。

無料塾ひだまりの様子



無料塾こみやでは、天王寺区にある小宮住宅の集会場を借りて学習支援やレクリエーションを行っています。同じ小学校から来てくれる子どもたちも多いため、子どもたち全員が仲良く触れ合える場として、地域の方や保護者の方からも好評です。

無料塾こみやの様子



・参加人数

月平均（全校舎）：30~50名程度

・周知方法/協力関係者

-周知方法

①SNS

②口コミ

③学校内でのパンフレット配布

-協力関係者

①社会福祉法人博愛社

②天王寺区社会福祉協議会

③こみや住宅自治会

④社会福祉法人四恩学園

・地域やボランティア活動との連携

無料塾の学習指導員は、主に Activo を通したボランティア募集により成り立っています。教育に強い関心のある高校生・大学生や、還暦を迎えた元教員の方など、さまざまな方に支えられながら運営しています。

社会福祉協議会や付近の学校、社会福祉法人などと連携しており、活動へのご理解やご協力をいただいています。

・学習支援員について

主に Activo から応募くださる方が多く、面接を通して適性を判断しています。

採用決定後は、現場に入る前に校舎の理念、子どもたちへの接し方や注意点等を説明します。そこから現場には入り、子どもたちとの関わり方についてその都度フィードバックをしています。

・購入した物品等

人件費に使用させていただきました。

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

発達障がいやひとり親家庭、不登校、経済格差、数えきれないほどの社会課題が子どもたちを取り巻いています。我々は様々なバックグラウンドを持つ子どもたち全員に多様なまなびを届け、子どもたちが安心して過ごせるサードプレイスの確立に向けて尽力しています。しかし、すべての子どもたちに向けてそれらを届けるには、あらゆるリソースが足りていないことをひしひしと感じています。

今後は今よりもさらに関係団体との連携を深め、社会全体のムーブメントとして無料塾という存在を確立していき、教育や居場所という社会課題に対してのひとつのソリューションとして成り立たせていくべきだと考えています。

社会的インパクトや持続可能性、再現性など、課題は山積していますが、これからも関係団体との連携を深め、社会全体で取り組んでいく流れをつくります。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリにて「S」が付されている団体）